

具体的な対応策について(意見をいただきたいこと)

	意見をいただきたい項目
B 校区の調整について	<input type="checkbox"/> 校区調整についてどのような方法が可能か <input type="checkbox"/> 配慮事項について
C 既存施設を活用した施設整備	既存施設を全部活用できる場合と一部活用できる場合に分けて <input type="checkbox"/> 設置学部について(一部活用の場合) ・小学校に設置する場合 ・中学校に設置する場合 ・高等学校に設置する場合 <input type="checkbox"/> 併置校との調整について(一部活用の場合) <input type="checkbox"/> 設置場所及び地理的な条件について(両方) <input type="checkbox"/> 通学方法について(両方) <input type="checkbox"/> 施設整備について(両方) 等
D 施設の新築	<input type="checkbox"/> 設置学部について <input type="checkbox"/> 施設整備について <input type="checkbox"/> 設置場所及び地理的な条件について <input type="checkbox"/> 通学方法について 等

<参考:「40～50人規模」を実現するための校種別パターンについて>

- ① 小学部を設置し、9教室程度を確保する
- ② 中学部を設置し、9教室程度を確保する
- ③ 小中学部を設置し、合わせて9教室程度を確保する
- ④ 中高等部を設置し、合わせて6教室程度を確保する
- ⑤ 高等部のみを設置し、6教室程度を確保する
- ⑥ 小中高等部を設置し、合わせて12教室程度を確保する

※ 利用できる施設の校種、規模、位置、状況などにより、設置する校種などを検討する必要がある。

<参考:施設整備の例>

山田特別支援学校田野分校では実態に応じた学習集団を編制し、8教室で運用している。

昨年度の子童生徒数と教室数

小9人(3教室)、中12人(3教室)、高11人(2教室) 計32人(8教室)

今年度の子童生徒数と教室数

小9人(2教室)、中7人(2教室)、高16人(4教室) 計32人(8教室)

他に洗濯室、調理室、教育相談室、陶工室、フリールーム、職員室が専用。